



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
コード番号 9384 URL <https://www.ntl-naigai.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小嶋 佳宏
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 人見 茂樹（TEL）06-6260-4800
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	17,214	6.1	1,924	△15.3	2,182	△10.7	1,474	△10.5
2023年12月期中間期	16,231	△31.1	2,271	△27.6	2,443	△26.9	1,646	△27.4

（注）包括利益 2024年12月期中間期 2,587百万円（5.1%） 2023年12月期中間期 2,461百万円（△22.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	151.10	—
2023年12月期中間期	168.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	26,597	22,537	81.0
2023年12月期	23,362	20,381	83.4

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 21,545百万円 2023年12月期 19,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2024年12月期	—	40.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	45.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	5.3	4,600	9.4	4,800	7.9	3,300	8.5	338.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	10,698,000株	2023年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	937,714株	2023年12月期	944,480株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	9,755,772株	2023年12月期中間期	9,746,381株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は2024年8月5日に決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料につきましては、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、景気持直しの動きが見られます。一方、円安等の影響により物価上昇が続いているため、金融資本市場の変動等をもたらす景気の下振れリスクには留意が必要な状況であります。

海上輸送の現状につきましては、紅海情勢の悪化に端を発した世界の主要な港湾における混雑や中国発の貨物輸送の増加によってコンテナスペースの需給がひっ迫し、海上運賃は上昇傾向にあります。

このような状況の下、当社グループの連結実績につきましては、一部の海外子会社において業績が好調であったこと、また円安も寄与して増収となりました。

しかし、利益については、粗利率の高い単体の輸出混載貨物の減少と中期経営計画の成長戦略として積極的に行った人材投資による販管費の増加を増収でカバーすることができず、減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は17,214百万円(前中間連結会計期間比6.1%増)、営業利益は1,924百万円(同15.3%減)、経常利益は2,182百万円(同10.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,474百万円(同10.5%減)と前年比において増収減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、輸出混載貨物を主力としております。単体につきましては、輸出混載貨物が4月以降は回復基調にありますが、3月までは前年を下回る取扱であったことが要因となり、減収減益となりました。

国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、主力とする航空輸送が好調を維持し、売上高、売上総利益は前年比で増加しました。しかし、業務の拡大に伴い、本社事務所の増床等を行ったため販管費が膨らみ、営業利益は減少しました。フライングフィッシュ株式会社は、新システムの導入や営業努力により顧客からの評価を高めたことが大口新規案件の獲得を含む取引の拡大に繋がり、増収増益となりました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、11,178百万円と前中間連結会計期間と比べ418百万円(3.6%)減少し、セグメント利益(営業利益)も1,204百万円と前中間連結会計期間と比べ408百万円(25.4%)減少しました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しております。これらの海外子会社では日本からの貨物の取扱が売上高の大半を占めておりますが、近年では日本発着以外のサービスも強化、推進しております。

当中間連結会計期間におきましては、倉庫事業の取扱が堅調に推移しているインド及び昨年物流倉庫の取得によって増床した内外釜山物流センター株式会社を中心とする韓国等が売上を伸ばした結果、増収増益となりました。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、6,036百万円と前中間連結会計期間と比べ1,401百万円(30.2%)増加し、セグメント利益(営業利益)も722百万円と前中間連結会計期間と比べ62百万円(9.4%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は26,597百万円(前連結会計年度末比3,234百万円増加)となりました。変動の主な理由は、現金及び預金が1,616百万円、売掛金が687百万円、建物及び構築物が727百万円増加したこと等によるものであります。

負債は4,059百万円(同1,078百万円増加)となりました。変動の主な理由は、買掛金が289百万円、未払法人税等が357百万円、固定負債のリース債務が220百万円増加したこと等によるものであります。

また、純資産は22,537百万円(同2,155百万円増加)となりました。変動の主な理由は、利益剰余金が1,032百万円、為替換算調整勘定が1,015百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は81.0%(前連結会計年度末は83.4%)となりました。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ1,616百万円増加し、15,502百万円となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,607百万円の増加(前中間連結会計期間は1,411百万円の増加)となりました。主な収入は税金等調整前中間純利益の2,182百万円、主な支出は売上債権の増加566百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、308百万円の減少(前中間連結会計期間は1,978百万円の減少)となりました。主な支出は有形固定資産の取得277百万円、差入保証金の差入32百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、520百万円の減少(前中間連結会計期間は695百万円の減少)となりました。主な支出は配当金441百万円、リース債務の返済72百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2024年12月期)の業績につきましては、2024年2月9日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

今後の見通しにつきましては、業績予想に関し、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,885,846	15,502,279
売掛金	2,180,121	2,867,283
貯蔵品	6,187	6,821
その他	1,046,172	1,179,054
貸倒引当金	△12,692	△14,461
流動資産合計	17,105,635	19,540,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,512,122	6,395,555
減価償却累計額	△926,389	△1,082,164
建物及び構築物(純額)	4,585,732	5,313,390
機械装置及び運搬具	246,263	282,673
減価償却累計額	△161,423	△183,559
機械装置及び運搬具(純額)	84,839	99,114
土地	373,709	376,660
リース資産	6,241	6,241
減価償却累計額	△1,795	△2,365
リース資産(純額)	4,446	3,875
使用権資産	536,274	509,008
減価償却累計額	△407,836	△79,054
使用権資産(純額)	128,437	429,954
建設仮勘定	321,721	22,921
その他	502,554	543,276
減価償却累計額	△374,714	△420,311
その他(純額)	127,839	122,965
有形固定資産合計	5,626,726	6,368,883
無形固定資産		
のれん	1,638	-
ソフトウェア	51,131	53,070
その他	6,581	7,341
無形固定資産合計	59,351	60,411
投資その他の資産		
投資有価証券	69,465	73,385
差入保証金	325,359	362,354
長期未収入金	106,905	122,940
長期預け金	5,751	6,215
繰延税金資産	105,250	118,257
その他	65,367	66,719
貸倒引当金	△106,905	△122,940
投資その他の資産合計	571,194	626,933
固定資産合計	6,257,272	7,056,228
資産合計	23,362,907	26,597,206

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,247,166	1,536,270
リース債務	86,695	171,284
未払費用	263,157	278,227
未払法人税等	231,363	589,053
賞与引当金	16,069	45,282
その他	296,979	299,901
流動負債合計	2,141,432	2,920,020
固定負債		
リース債務	53,992	274,522
繰延税金負債	255,417	313,693
役員退職慰労引当金	6,124	5,074
株式給付引当金	85,078	95,203
退職給付に係る負債	375,141	379,074
その他	63,861	71,910
固定負債合計	839,617	1,139,479
負債合計	2,981,049	4,059,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	372,887	380,532
利益剰余金	18,329,004	19,361,015
自己株式	△1,046,534	△1,037,438
株主資本合計	17,899,295	18,948,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,818	19,538
為替換算調整勘定	1,546,467	2,561,560
退職給付に係る調整累計額	14,657	16,652
その他の包括利益累計額合計	1,577,943	2,597,751
非支配株主持分	904,618	991,907
純資産合計	20,381,858	22,537,706
負債純資産合計	23,362,907	26,597,206

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	16,231,186	17,214,390
売上原価	10,979,445	12,102,321
売上総利益	5,251,740	5,112,069
販売費及び一般管理費	2,980,063	3,187,134
営業利益	2,271,677	1,924,935
営業外収益		
受取利息	55,260	86,500
為替差益	93,107	148,453
不動産賃貸料	16,080	16,080
償却債権取立益	13,498	1,675
その他	14,500	13,389
営業外収益合計	192,447	266,099
営業外費用		
支払利息	2,383	3,952
株式交付費	13,884	-
支払手数料	3,639	3,741
その他	830	674
営業外費用合計	20,737	8,368
経常利益	2,443,387	2,182,666
特別利益		
投資有価証券売却益	7,080	-
特別利益合計	7,080	-
税金等調整前中間純利益	2,450,467	2,182,666
法人税、住民税及び事業税	685,140	619,708
法人税等調整額	77,508	48,588
法人税等合計	762,648	668,297
中間純利益	1,687,818	1,514,369
非支配株主に帰属する中間純利益	40,939	40,284
親会社株主に帰属する中間純利益	1,646,878	1,474,085

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	1,687,818	1,514,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△859	2,720
為替換算調整勘定	774,014	1,068,004
退職給付に係る調整額	527	2,099
その他の包括利益合計	773,681	1,072,825
中間包括利益	2,461,500	2,587,194
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,378,731	2,493,893
非支配株主に係る中間包括利益	82,769	93,301

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,450,467	2,182,666
減価償却費	168,939	218,252
のれん償却額	3,099	1,675
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,979	25,803
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,055	1,423
貸倒引当金の増減額(△は減少)	81,881	2,443
受取利息及び受取配当金	△56,034	△87,321
支払利息	2,383	3,952
為替差損益(△は益)	△109,900	△152,692
償却債権取立益	△13,498	△1,675
固定資産除売却損益(△は益)	△1,088	227
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,080	-
売上債権の増減額(△は増加)	928,188	△566,633
棚卸資産の増減額(△は増加)	△841	△106
仕入債務の増減額(△は減少)	△222,346	222,412
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,050	△1,050
株式給付引当金の増減額(△は減少)	12,333	10,124
株式交付費	13,884	-
未払費用の増減額(△は減少)	△75,354	18,735
長期未収入金の増減額(△は増加)	△82,680	△1,707
その他の資産の増減額(△は増加)	△227,147	△69,366
その他の負債の増減額(△は減少)	△101,837	△5,669
小計	2,808,452	1,801,493
利息及び配当金の受取額	56,034	87,321
利息の支払額	△2,383	△3,952
法人税等の支払額	△1,450,413	△277,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,411,689	1,607,124

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,995,548	△277,090
有形固定資産の売却による収入	1,426	449
無形固定資産の取得による支出	△21,059	△11,601
投資有価証券の売却による収入	59,700	-
償却債権の回収による収入	13,498	1,675
差入保証金の差入による支出	△8,891	△32,282
差入保証金の回収による収入	5,084	8,036
その他	△32,244	2,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,978,034	△308,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△70,245	△72,793
自己株式の取得による支出	-	△90
株式の発行による支出	△13,884	-
配当金の支払額	△537,684	△441,849
非支配株主への配当金の支払額	△8,417	△6,011
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△65,117	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△695,349	△520,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	592,823	838,595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△668,870	1,616,433
現金及び現金同等物の期首残高	14,294,693	13,885,846
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,625,822	15,502,279

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	11,596,222	4,634,963	16,231,186	—	16,231,186
外部顧客への売上高	11,596,222	4,634,963	16,231,186	—	16,231,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	387,624	929,788	1,317,412	△1,317,412	—
計	11,983,846	5,564,752	17,548,599	△1,317,412	16,231,186
セグメント利益	1,613,163	660,010	2,273,173	△1,495	2,271,677

(注)1. セグメント利益の調整額△1,495千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	日 本	海 外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	11,178,049	6,036,340	17,214,390	—	17,214,390
外部顧客への売上高	11,178,049	6,036,340	17,214,390	—	17,214,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	405,753	935,436	1,341,190	△1,341,190	—
計	11,583,803	6,971,777	18,555,580	△1,341,190	17,214,390
セグメント利益	1,204,190	722,360	1,926,551	△1,616	1,924,935

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,616千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。